

訂 正

2023 年 8 月 15 日

「大洋州地域(広域)人材育成奨学計画準備調査(QCBS)」

(公示日:2023 年 8 月 9 日/調達管理番号:23a00417)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	(JICA より訂正) P.13「第 6 条 実施方針及び留意事項(1)当国における戦略性の高い受入計画の策定」1 行目について下部の記述を訂正します。 【現行の誤記載】 本事業は当国の開発課題への貢献だけでなく、我が国と当国との二国間関係強化・外交的視点での効果が期待されることから、当該視点からのこれまでの効果発現状況の分析をふまえ、戦略性の高い受入計画とするために適切な分野、人材選定方法、及び受入大学を具体的に提案する。		【訂正後・正】 本事業は当国の開発課題への貢献だけでなく、我が国と当国との二国間関係強化・外交的視点での効果が期待されることから、当該視点からのこれまでの類似事業の効果発現状況の分析をふまえ、戦略性の高い受入計画とするために適切な分野、人材選定方法、及び受入大学を具体的に提案する。
2	P.15「第 6 条 実施方針及び留意事項(3)調査のプロセス」1 行目について下部の記載を訂正します。 【現行の誤記載】 現地調査を実施しない 6 カ国については、早くて 2024 年の翌々年(2026 年)以降の閣議付議を目指すため、		【訂正後・正】 現地調査を実施しない 6 カ国については、早くて 2024 年の <u>翌年(2025 年)</u> 以降の閣議付議を目指すため、
3	P.22「別紙 1 プロポーザルにて特に具体的な提案を求める事項(プロポーザルの重要な評価部分)」項目 1 について下部の記載を訂正します。 【現行の誤記載】 ・本事業の効果発現状況に実態を示すのに有用な定量データ及びデータ収集		【訂正後・正】 ・本事業の効果発現状況に実態を示すのに有用な定

	手法。 ・効果発現状況の分析をふまえた、当国の二国間関係強化に資する分野、人材選定、および受入大学	量データ及びデータ収集手法。(削除) ・類似事業の効果発現状況の分析をふまえた、当国の二国間関係強化に資する分野、人材選定、および受入大学
4	P.25「第 3 章 プロポーザル作成に係る留意事項 1. プロポーザルに記載されるべき事項 (3)業務従事予定者の経験、能力 ②評価対象とする業務従事者の予定人月数」について下部の記載を訂正します。 【現行の誤記載】 約 14. 23 人月	【訂正後・正】 約 13. 43 人月
5	P.25 第 3 章 プロポーザル作成に係る留意事項 2. 業務実施上の条件 (2)業務量の目途と業務従事者構成案 3)渡航計画・回数 の目途	「全 40 回」と記載がありますが、現地調査対象 8 カ国へ、業務主任が各国 1 回ずつ計 8 回、留学計画と基礎情報収集の 2 名が各国 2 回ずつ計 32 回という理解でよろしいでしょうか。
以上、8/15 掲載済み		
6		

以上